

事業所名		放課後デイふるさと めぶきの家				公表日	2025年2月14日
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	6	0			
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	6	0			
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	6	0	・来所してからの一連の流れに取り組んでから過ごして頂いています。		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	6	0	・消毒等こまめに行っています。 ・毎日清掃を行い、必要に応じて机を出すなど活動に合わせて環境を変更しています。		
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	5	0	・カーテンなどを使い落ち着いて過ごして頂けるよう関わっています。 ・必要に応じて行い配慮しています。		
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	3	2	・日々の子供の様子について伝えるよう心掛けています。 ・話しやすいような雰囲気を作られています。	・目標や達成すべきことを明確にしておく必要があると感じています。 ・全ての職員に行き渡っているわけではないと感じています。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6	0	・送迎時に保護者とコミュニケーションをこまめにとり、職員間で情報共有を心掛けています。 ・その日の振り返りをするようにしています。		
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6	0	・引継ぎノートなどでチェック出来るようになっています。 ・職員から意見をもらうこともあります。		
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	2	2		・第三者による外部評価を行っていません。	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	6	0	・ミーティングで研修の内容を共有しています。 ・積極的に研修案内をしています。		
	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	4	2		・支援プログラムの作成が途中です。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	5	1	・基本情報等の個人ファイルは職員が閲覧できる環境です。		
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	4	1	・その日に必要なことを伝達してもらっています。	・計画が職員に対して共有される機会がありません。	
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	3	2	・支援に対して配慮すべきところは共有できています。	・計画が職員に対して共有される機会がありません。 ・児童の支援に関わる全職員に対して共有されていないため、改善が必要です。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	4	0	・疑問に思った点や送迎時にあったことなど、その都度相談しています。		

適切な支援の提供	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	3	1	・短期的、長期的両方の観点で振り返るようにしています。	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	4	2	・何かあれば教えてくださいと常に伝えられています。	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	5	1	・季節に合わせた行事を行うよう心掛けています。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	4	0	・必要に応じて声掛け等行っています。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	3	2	・引継ぎノートなどで確認を行っています。	・打ち合わせが出来ていない日もあるため今後は必ずできるようにしたい。 ・打ち合わせは外出行事の際に限られています。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	4	1	・連絡、相談しやすい環境にあります。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	6	0	・次回の支援につなげていけるように記録をとっています。	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	5	0	・経過を見て今後どうしていったらいいかを提案してもらいながら支援にあたっています。	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ合わせて支援を行っているか。	5	0	・その時の状況に応じて支援にあたっています。	
25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	6	0	・自分で考える、決めるという機会を大切にしています。 ・小さなことから自分で決められるよう習慣をつける支援を行っています。		
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	6	0	・会議ごとに出席しています。	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	5	0	・学校の様子、家庭の様子、地域の安全状況を確認しながら業務にあたっています。	
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	6	0	・トラブル時にはすぐに連絡等の対応を行い、適切な行動に沿って支援を行っています。	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	4	0	・アセスメントを共有しています。	
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	4	0		
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	2	2	・情報を共有していただいています。	・今後検討していく必要があります。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	2	2	・機会があれば活動できる開かれた事業所だと思います。	・地域の公園などに遊びに出掛けの際に交流もてるように支援を行っています。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	4	1		
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	6	0	・ご家庭から事業所、事業所からご家庭へと報告をしています。	
35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	3	0	・日々の変化や状況を伝達しています。		

保護者への説明等	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	5	0		
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、子どもや保護者の意思の尊重、子どもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、子どもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	6	0	・日々の活動の様子をこまめに保護者様に連絡したり、保護者様の意向をすみやかに行動しています。	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	6	0	・保護者様の理解を得ながら活動にあたっています。	
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	6	0	・必要に応じて療育相談を行っています。	
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	5	0	・機会をうかがいながら通信等で交流出来る場を設けるようにしています。 ・保護者から要望があり保護者会の開催をサポートしました。	
	41	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	6	0	・速やかに対応するようにしています。	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	6	0	・写真等活動の様子が分かるように配慮しています。	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	6	0	・SNS等の発信には気を付けています。	
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	6	0	・毎回様子を伝えたり、保護者から伝達しやすくするように心掛けています。	
45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	2	2	・隣接の介護事業所と開かれた関わりをしています。		
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	6	0	・マニュアルが職員に行き渡り情報共有されています。	
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	3	0	・事業所内で連携をとりながら計画されています。	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	6	0	・服薬の有無を職員全体で把握しています。	
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	6	0	・生卵等、反応を示す子どもに対して配慮しています。	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	5	0	・避難訓練、AED研修等を開催しています。	
	51	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	4	0		
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	4	2	・怪我等起こらないように気を付けています。	・再発防止に向けた方策について検討していきます。
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	6	0		
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	1	2			

○事業所名	放課後デイふるさと めぶきの家		
○保護者評価実施期間	2025年1月4日		2025年1月31日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	36	(回答者数) 27
○従業者評価実施期間	2025年1月4日		2025年1月31日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6	(回答者数) 6
○事業者向け自己評価表作成日	2025年2月14日		

○分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	環境・体制整備の面において「活動等のスペースが十分に確保されている」「職員の配置数は適切である」「生活空間はこどもに分かりやすく構造化された環境になっている」「生活空間は清潔で心地よく過ごせる環境、こども達の活動に合わせた空間となっている」に高い評価をしていただきました。	療育室については活動に合わせてカーテンなどを使い空間を分けたり、机を必要な場合に出すなど活動しやすい環境を整えるよう配慮しています。 また毎日の療育室の清掃を必ず行い、清潔に過ごして頂けるように心掛けています。	限られた空間ではありますが、それぞれの特性に応じた環境設定を可能な限り行い、より安心して通所していただけるよう心掛けて参ります。
2	保護者への説明等の面において「日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達状況について共通理解できている」「事業所の職員から共感的に支援をされている」に高い評価をしていただきました。	ご利用時には連絡帳や送迎時、必要な場合や緊急の場合には電話連絡などを用いてお子様のご様子について保護者様に共有することを必ず心掛け、ご本人だけでなく保護者様の意見などについても共感的に耳を傾けることに努めています。	引き続き、丁寧にご家庭への情報共有を行いながら保護者様やご本人のニーズを踏まえた支援を心掛けて参ります。
3	満足度について「安心感をもって通所しているか」「通所を楽しみにしているか」「事業所の支援に満足しているか」という面で高い評価をしていただきました。	お子様の支援に関しては自己決定の機会を積極的に設けて自分で考え取り組むことや、困った時に周囲に頼る力をつけられるような支援を心掛けることでご本人の「出来た」という達成感を大切にしながら関わっています。	ご本人の意思決定を尊重しながら挑戦する機会や失敗してもやり直す機会を大切に、ご本人が成長を実感できるような事業所として今後も丁寧な支援を心掛けて参ります。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	父母の会の活動の支援や保護者会の開催等について「分からない」という回答が全体の半分ほどありました。	保護者様からのお声掛けで保護者会の開催を行いましたでしたが参加希望がほとんどなく、全体に開催の周知が行き渡らなかったこと、参加に至るまでのハードルが高かったことが考えられます。	前回はお知らせの配布にて保護者会の開催を各ご家庭へ行いましたが、今後は職員からも直接こういった会の存在について積極的にお声掛けさせていただくことでより興味を持っていただけるようにしていきたいと思っております。
2	事業所でのマニュアルの策定、保護者への周知や、訓練等の実施について「どちらともいえない」「いいえ」「わからない」という回答が全体の半分ほどありました。	避難訓練などの実施や緊急時の事業所の対応について保護者様に情報が行き渡っていないことが分かりました。訓練に関しては介護事業所と合同で行っていますが、参加する人数が少なく日程を事前に周知していないため訓練があることを知る機会が少なかったと感じています。	避難訓練などの実施につきましては、通信や事業所の公式Xなどを通して積極的に発信し、より多くのご家庭へと周知できるように心掛けて参ります。
3	適切な支援の提供という面では「放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもの活動する機会があるか」について「どちらともいえない」「いいえ」「わからない」という回答が全体の半分以上を占めました。	保護者様からは「地域の子供の活動自体なくなってきたので難しいと思う。学校でしてもらっているので無理にしないでいいと思います」といったご意見もいただきました。現状、放課後児童クラブなど他事業所との交流の予定はありません。	放課後の限られた時間の中、地域との交流が難しい場面が多いですが地域の公園などに遊びにいった際に遊びに来ている他の子ども達と関わる機会を大切にしながら、機会があれば積極的に関わりをもちたいと考えています。